平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名　日本乾溜工業株式会社　　上場取引所　福
コード番号　1771　URL　http://www.kanryu.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 沢井　博美
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 池田　秀孝　TEL 092-632-1050

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	10,054	9.9	621	31.6	645	31.3	384	△18.1
24年9月期第3四半期	9,146	△8.9	472	△11.5	492	△10.1	469	△12.0

(注)包括利益　25年9月期第3四半期　442百万円　(△11.6%)　24年9月期第3四半期　500百万円　(△10.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	76.15	31.29
24年9月期第3四半期	94.64	38.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第3四半期	8,052	3,395	42.2	475.34
24年9月期	6,669	2,998	44.9	387.83

(参考) 自己資本　25年9月期第3四半期　3,395百万円　24年9月期　2,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	0.00	―	3.00	3.00
25年9月期	―	0.00	―		
25年9月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

・上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧下さい。

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	5.0	421	0.2	441	0.1	230	△43.2	41.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

・通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定のため、24年9月期の優先株式の配当年率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	5,102,000 株	24年9月期	5,102,000 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	61,762 株	24年9月期	1,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	5,053,205 株	24年9月期3Q	4,965,238 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（参考情報）

種類株式の配当の状況

普通株式と権利の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳及び配当金の総額は、以下のとおりであります。

	１株当たり配当金				
（基準日）	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
第１回優先株式					
24年9月期	―	0.00	―	10.00	10.00
25年9月期	―	0.00	―		
25年9月期(予想)				未定	未定

（注）25年9月期の予想につきましては、配当年率が平成25年10月1日の日本円TIBOR（６ケ月物）に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年10月１日～平成25年６月30日）におけるわが国経済は、新政権下における金融緩和をはじめとした経済政策への期待感を背景に円高の是正や株価の上昇等、緩やかな持ち直しの動きがみられました。

当社が主力とする建設業界におきましては、国及び地方公共団体の公共事業関連費は前年を上回り、堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、受注の確保、徹底したコスト管理により、目標利益の達成に向けて全社をあげて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は100億54百万円（前年同四半期比9.9％増、９億７百万円増）、営業利益は６億21百万円（同31.6％増、１億49百万円増）、経常利益は６億45百万円（同31.3％増、１億53百万円増）、税金等調整前四半期純利益は６億37百万円（同32.2％増、１億55百万円増）と増益となりましたが、四半期純利益につきましては、前期に税務上の繰越欠損金が解消し、法人税等が２億40百万円増加したため、３億84百万円（前年同四半期比18.1％減、85百万円減）となりました。

なお、当社グループの第３四半期連結累計期間の業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第２四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（建設事業）

建設事業における工事につきましては、東九州自動車道関連工事などの交通安全施設工事等が順次完成したことにより、完成工事高は前年同四半期を大きく上回りました。

また、建設工事関連資材の販売につきましても東九州自動車道関連工事に伴うガードレールをはじめとした防護柵等の交通安全施設資材の販売が好調に推移しました。

以上の結果、建設事業の売上高は84億39百万円（前年同四半期比12.2％増、９億17百万円増）、セグメント利益は７億34百万円（同34.3％増、１億87百万円増）となりました。

（防災安全事業）

防災安全事業につきましては、民間企業向けの産業安全衛生用品の販売が低調に推移しましたが、自然災害に備える防災意識が高まっていることを受け、官公庁を中心に備蓄用資機材の販売が堅調に推移しました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は11億82百万円（前年同四半期比0.0％増、０百万円増）、セグメント利益は54百万円（同3.9％増、２百万円増）となりました。

（化学品事業）

化学品事業につきましては、タイヤの製造過程で使用されるゴム加硫剤（不溶性硫黄）の販売が、会計年度の序盤ではエコカー補助金終了の影響を受けたものの、売上高は４億32百万円（前年同四半期比2.3％減、10百万円減）、セグメント利益は１億11百万円（同2.6％減、２百万円減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間の総資産は、80億52百万円（前連結会計年度末比20.7％増、13億82百万円増）となりました。

資産につきましては、流動資産が55億６百万円（同31.0％増、13億２百万円増）となりました。その主な要因は、当社グループの通常の売上形態として売上高が第２四半期連結会計期間に集中し、第３四半期連結会計期間ではその売上債権の回収が進むために現金及び預金が７億37百万円増加、受取手形が５億80百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、25億45百万円（同3.3％増、80百万円増）となりました。その主な要因は、株式市場の活況により当社が保有している株式の価格が上昇したことなどに伴い、投資有価証券が82百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、46億56百万円（同26.8％増、９億85百万円増）となりました。その主な要因は、第２四半期連結会計期間に売上高が集中し、第３四半期連結会計期間では仕入債務の支払いが多くなるために支払手形が９億15百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、33億95百万円（同13.3％増、３億97百万円増）となりました。その主な要因は、四半期純利益を３億84百万円計上したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において概ね予定の範囲内で推移しており、平成25年５月15日に発表しました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,363,849	2,100,965
受取手形・完成工事未収入金等	2,556,014	3,068,846
有価証券	10,136	10,141
未成工事支出金	126,197	150,762
商品及び製品	89,421	102,371
仕掛品	9,452	9,505
原材料及び貯蔵品	9,304	9,587
その他	50,749	66,904
貸倒引当金	△10,246	△12,139
流動資産合計	4,204,880	5,506,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	622,607	603,433
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	55,452	43,507
土地	1,116,688	1,116,688
その他（純額）	13,349	64,915
有形固定資産合計	1,808,098	1,828,543
無形固定資産		
のれん	14,855	9,284
その他	86,879	68,145
無形固定資産合計	101,735	77,430
投資その他の資産		
投資有価証券	429,285	511,682
差入保証金	115,030	115,233
その他	76,898	73,301
貸倒引当金	△66,155	△60,426
投資その他の資産合計	555,058	639,790
固定資産合計	2,464,891	2,545,764
資産合計	6,669,771	8,052,711

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,210,317	3,202,631
短期借入金	224,420	104,120
未払法人税等	61,284	237,465
未成工事受入金	194,429	226,731
賞与引当金	80,000	105,270
役員賞与引当金	9,274	－
株主優待引当金	3,330	－
その他	185,926	183,317
流動負債合計	2,968,981	4,059,535
固定負債		
長期借入金	231,230	157,340
退職給付引当金	392,985	356,015
繰延税金負債	22,580	47,041
その他	55,970	36,940
固定負債合計	702,766	597,337
負債合計	3,671,748	4,656,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,675	413,675
資本剰余金	698,570	698,570
利益剰余金	1,813,400	2,162,912
自己株式	△229	△10,009
株主資本合計	2,925,416	3,265,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,607	130,690
その他の包括利益累計額合計	72,607	130,690
純資産合計	2,998,023	3,395,838
負債純資産合計	6,669,771	8,052,711

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	9,146,822	10,054,571
売上原価	7,558,656	8,317,723
売上総利益	1,588,165	1,736,847
販売費及び一般管理費	1,115,731	1,115,111
営業利益	472,434	621,736
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,438	9,589
受取賃貸料	4,160	4,282
受取手数料	4,165	10,116
その他	9,639	6,997
営業外収益合計	28,403	30,984
営業外費用		
支払利息	8,029	5,464
その他	806	1,406
営業外費用合計	8,836	6,871
経常利益	492,002	645,849
特別利益		
投資有価証券売却益	166	－
特別利益合計	166	－
特別損失		
固定資産除却損	133	7,416
投資有価証券評価損	7,656	－
投資有価証券売却損	379	433
会員権評価損	1,230	－
特別損失合計	9,399	7,850
税金等調整前四半期純利益	482,769	637,999
法人税、住民税及び事業税	11,881	263,845
法人税等調整額	984	△10,658
法人税等合計	12,866	253,187
少数株主損益調整前四半期純利益	469,902	384,812
四半期純利益	469,902	384,812

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	469,902	384,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,839	58,083
その他の包括利益合計	30,839	58,083
四半期包括利益	500,742	442,895
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,742	442,895
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年10月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,522,195	1,181,996	442,630	9,146,822	―	9,146,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	63	―	63	△63	―
計	7,522,195	1,182,060	442,630	9,146,885	△63	9,146,822
セグメント利益	547,270	52,188	114,751	714,210	△241,776	472,434

（注）１．セグメント利益の調整額△241,776千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△241,776千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年10月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,439,997	1,182,156	432,417	10,054,571	―	10,054,571
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	191	―	191	△191	―
計	8,439,997	1,182,347	432,417	10,054,762	△191	10,054,571
セグメント利益	734,831	54,202	111,792	900,826	△279,090	621,736

（注）１．セグメント利益の調整額△279,090千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△279,090千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。